

そんなり通信 vol.91



地域活動支援センターMネット 広報誌 H29年4月号
発行者：社会福祉法人Mネット東遠 地域活動支援センターMネット菊川会場：
菊川市本所 1407-4 TEL0537-28-9716
小笠会場：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX0537-73-1034

3月のサロン活動

3月14日（火）【100円食堂：ちらし寿司】

今回とっても大盛況だった 100円食堂♪22名の方が参加してくださいました。調理を担当したメンバーからは、「こんな大人数のご飯を作るのは初めて。」「大衆食堂みたいだね。」といった声が聞かれました。ちらし寿司班、みそ汁班、果物・野菜班とグループに分かれ、みんな協力しながら準備ができました。まだ参加したことがない方も、ぜひ一度食べに来てください♪



3月21日（火）【伊藤園相良工場 見学】

今年度最後のサロンは工場見学でした。始めに担当者の方から、相良工場ではどのような製品を製造しているのかなど工場の概要を説明していただき、その後工場内の見学をおこないました。相良工場では飲料の製造はしておらず、粉末タイプのお茶やコーヒーの焙煎をされていて、工場内はとてもいい香りでした。最後にお土産をもらい、参加者は喜んで帰りました。



4月のサロン予定

4月のサロンは以下の内容で行ないます。

日にち：4月4日（火）

内容：100円食堂（肉じゃが定食）

時間：9：00 赤土集合、出発

9：30 プラザけやき南口集合。12：30 終了予定

場所：プラザけやき栄養指導室

持ち物：材料費100円、エプロン、帽子・バンダナなど髪を隠せるもの。

※ご飯を食べるだけの参加でもOK♪

11：20 赤土出発、11：45 食事、12：55 赤土帰着予定。

日にち：4月18日（火）

内容：油山寺散策（袋井市）

時間：9：00 赤土出発 9：20 きくがわ作業所出発 9：30 プラザけやき出発

10：00 油山寺到着、散策 11：00 油山寺出発

11：30 プラザけやき到着予定 12：00 赤土到着予定

場所：油山寺（袋井市）

※昼食は帰着後各自でお願いします。

平成 29 年度ぴあぴあサロン日程

日程	100 円食堂 (メニュー)	日程	体験・外出
4月4日 (火)	肉じゃが	4月18日 (火)	油山寺
5月2日 (火)	たけのこ料理	5月16日 (火)	蓮華寺池公園 (藤見物)
6月6日 (火)	カレー	6月20日 (火)	ステンドグラス美術館・二の丸美術館
7月4日 (火)	冷やし中華	7月18日 (火)	ららぽーと磐田
8月1日 (火)	そうめん		
9月5日 (火)	チャーハンと餃子	9月19日 (火)	新金谷駅・トーマス見物
10月3日 (火)	天ぷら・野菜のかき揚げ	10月17日 (火)	釣り (菊川河口)
11月7日 (火)	鶏のからあげ	11月21日 (火)	日本平動物園
12月5日 (火)	イカの里芋の煮物		
1月9日 (火)	雑煮	1月16日 (火)	初詣 (大井神社) と蓬萊橋
2月6日 (火)	巻き寿司 (恵方巻き)	2月27日 (火)	あらさわふる里公園と浜岡砂丘
3月6日 (火)	炊き込みご飯と豚汁	3月27日 (火)	お花見 (大浜公園)



コラム

障害者の地域支援を考える・2

2. ナイトホスピタルってご存知ですか？

皆さんはナイトホスピタルという言葉を知っていますか。昭和 50 年代の精神科治療では、入院している患者さんが民間会社に社会復帰訓練のために働きに行く活動が盛んにおこなわれていました。この活動は、病院の精神科ソーシャルワーカーが就労先をみつけて、仕事をさせてもらうよう交渉して雇ってもらうという方法ですが、当然、賃金が発生します。ナイトホスピタルという活動を「労働」とみるのか「治療の一環」としてみるのか、その見方によって意見が分かれました。皆さんならどんなふうに考えますか。

そんななか、患者さんは、「賃金が安いからいやだ」と言って仕事に行くことを辞めてしまう方も出てきたり、「病院に入院していて、働きに行ってお金を得るとは何事だ」と言う人もいました。

精神科病院の特徴ですが、退院できなくて1年どころか2年も3年もナイトホスピタルで仕事に行っている人もいて、そうするとそのお金が溜まってきます。入院中で金銭管理は病院がおこなっていることもあり、“使わせない” からです。自分で稼いだお金を自由に使えないから自然とお金が溜まってしまいます。

当時、精神科病院に入院している患者さんの中で就労意欲や就労能力のある方の多くは、ナイトホスピタルを体験したことがあると思います。つまり、治療からリハビリテーション、そして就労訓練という、治療プログラムのすべてを精神科病院の中でおこなっていた時代があったということです。現在は、早期治療・早期退院ということで、病状が安定すれば退院して、リハビリテーションや就労訓練は地域でおこなうことが一般的となってきました。